



令和8年度(2026年度) ▶▶▶ 令和12年度(2030年度)

概要版

しもやまスマイルプラン

《後期プラン》

しもやまスマイルプランって何？

この「しもやまスマイルプラン」は、私たちが住む下山を子どもたちの世代に引き継ぐために、将来の下山について考え、描いた未来の姿を実現するための行動計画です。



下山の5年後の将来像



子どもの声が聞こえ、
笑顔で喜ぶまち しもやま



みんなでめざす下山のまちづくりの方向性

下山に関わる人を増やして活力あるまちづくり

- 「定住人口」の減少を抑える取組にチャレンジします。
- 観光客などの「交流人口」と住民との交流の機会を積極的につくります。
- 地域活動への参加者の増加をめざして、「関係人口」を増やします。

住民主体の地域活動で持続可能なまちづくり

- 住民一人ひとりが地域の運営を考え、住民による地域活動を次世代に引き継ぎます。
- まちづくりに関する地域内の団体が、そのあり方や活動内容を見直し、より適正な運営に努めます。
- 自治区と地域の関係団体、行政との連携を強化して、地域活動を活性化させます。

「安心感」と「わくわく感」が実感できるまちづくり

- 子どもから高齢者まで、誰もが安心して生活できる環境をつくります。
- 下山を盛り上げるために「やってみたい」ことを実現できるように、みんなで応援する機運を醸成します。
- 地域外からの来訪者が、親しみやすく、楽しめる環境をつくります。

分野別プラン

「分野別プラン」では、定住・移住、子育て・教育、健康・福祉など以下の11の分野について、下山全体で取り組むべき施策と具体的な事業を定めています。

主に下山地域まちづくり推進協議会の構成団体（里楽暮住しもやま会、下山商工会、各自治区など）や豊田市下山支所などが中心となって、下山全域の課題解決に貢献する柱となる施策を推進します。



後期プランでは、以下の4つの項目について、重点的に取り組んでいきます。

項目	後期プランで取り組む方向性
定住・移住	「住みよさ」と「定住意識」の向上 生活利便性の向上と定住・移住施策の充実により、特に若年層・子育て世代の住みよさの向上を図ります。
観光	次世代が地域に誇りをもてる観光まちづくり 体験プログラムの開発や環境整備による地域資源の磨き上げや、戦略的な情報発信を関係者が主体的に取り組むことで観光まちづくりを推進します。
農地保全	省力的な管理手法の導入と新たな担い手の確保 耕作放棄地の解消に向け、地域外人材も含めた担い手の育成や、粗放的な農地管理（手のかからない管理）を推進します。
基盤整備	生活道路の計画的整備と安全対策の推進 住民生活に直結する道路の整備・補修を着実に進めるとともに、交通量変化に対応した安全対策を行います。

しもやまスマイルプラン《後期プラン》（概要版） 令和8年3月

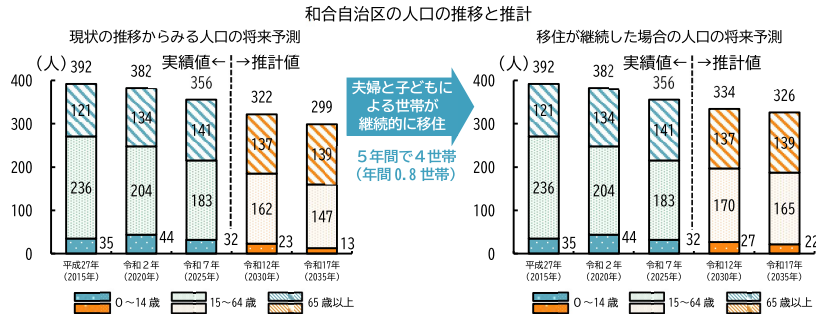
発行：下山地域まちづくり推進協議会（事務局 豊田市役所地域活躍部下山支所）
TEL 0565-90-2111 メール shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp



※本編は豊田市ホームページからご覧ください。

和合自治区の人口データ

- 和合自治区には、150世帯、356人の方が住んでいます(豊田市住民基本台帳、令和7年10月1日現在)。
- 令和12年には322人と、今後5年間でさがる減少が予想されていますが、継続的に若い世代が移住すると、人口構成の回復が期待できます。



和合自治区の5年後の将来像

- 高齢者は増加しますが、寝たきりにならず、心も体も元気よく過ごしています。
- 地域内での見守り、支えあいが負担なく、ほどよい距離感でできています。
- 地域の人たちが、気軽にふれあうことができる機会が継続されています。
- 女性が元気で地域の行事にも積極的に参画しています。
- 地震などの大きな災害が発生しても、速やかに避難できるような体制づくりと日頃からの防災意識が醸成されています。
- 移住者が増加し、元気な地域が維持されています。
- 人口が減少する中でも自治区や組の運営を見直し、継続しています。



和合自治区の今後5年間の取組

- **取組1:みんな生き生き まめ(健康)になりん**
60・70・80は働きざかり、心も体も前向きにしまいか!
- **取組2:お互い見守り、チョット助けあえたら安心だらあ**
声をかけ合い、知り合い、和み合い、助け合うまいか!
- **取組3:「女性が元気は、家庭も元気、地域も元気」だがん**
女性が楽しく、積極的に活動できる地域にしまいか!
- **取組4:早めの避難が安全じゃん**
迷わず、ためらわず、自分の命は自分で守らまいか!
- **取組5:明るく楽しい自治区にしまいか**
安心安全で元気な地域を維持し、発展させまいか!



重点
取組

令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)
1:みんな生き生き まめ(健康)になりん				
① 心身の健康教室の実施(お寺でヨガ、防災訓練後のヨガ教室の継続実施)				
② 自治区だよりにて「幸齢化」に向けた健康的な家庭生活を送るための情報発信				
2:お互い見守り、チョット助けあえたら安心だらあ				
① あいさつから近所ネットワークづくり				
② 「近助カード」を毎年更新				
③ 班を中心とした「近助(近所)」の活動の周知、意識づけ、普及活動				
3:「女性が元気は、家庭も元気、地域も元気」だがん				
① 「わごうの女子会」の活動の充実と継続				
② 移住者と地元女性との交流				
4:早めの避難が安全じゃん				
① 避難場所(まどいの丘)設置の防災倉庫の管理維持・防災委員会と自治区組役員による管理維持計画と備蓄				
② 住民参加の防災訓練の実施				
③ 災害状況に応じた各組集会所の運用検討				
運用体制の構築				
④ 住民の防災に対する意識の醸成				
5:明るく楽しい自治区にしまいか				
① 自治区だよりの発行				
② 粗放的農地管理の実施				
③ 定住・移住・交流促進(住み続ける取組・空き地空き家発掘・自治区紹介情報発信)				
④ 移住者の活躍支援(ご近助付き合いや生活に関する相談、農地の提供や農作業に関する手助け等)				
⑤ 組と主要道をつなぐ道路の整備				
⑥ 自治区や各組の組織・役職の見直し				
⑦ 「やろまいか委員会」の活動促進				